

平成26年度全国学力・学習状況調査が4月22日に実施され、大東市の全公立小学校の6年生1,148名、中学校の3年生1,117名が調査に参加しました。

今回の調査は、平成25年度に引き続き、全国の公立小中学校の全校が参加する調査でした。

調査内容は、国語及び算数・数学の知識に関するA問題と、活用に関するB問題による「学力調査」、児童・生徒に学校生活や家庭生活の様子をたずねた「児童・生徒質問紙」、各学校の取り組み状況や教職員の意識についてたずねた「学校質問紙」の3つからなっています。

教育委員会では、分析した調査結果を学校での「授業改善の工夫」および児童生徒の「学習意欲と学力の向上・基本的生活習慣の定着」に役立てるとともに市の教育施策に反映させてまいります。

問教育政策室 ☎870・9643

小学校 学力調査の結果より

国語は、A問題での漢字の書き取りで、正答率が全国を上回る設問がありました。しかし、故事成語の意味と理解や、情景描写を捉えることなどについては課題があります。B問題では「話すこと・聞くこと」に関する設問では、できているものがありました。しかし、「書くこと」に大きな課題があります。

算数は、A問題では、「数と計算」の設問で、正答率が全国を上回る設問がありました。また、無解答率も全国とほぼ差がありません。しかし、「量と測定」「数量関係」については課題があります。B問題は選択式で解答する設問では全国に近いものがありました。B問題は選択式で解答する設問では全国に近いものがありました。B問題は選択式で解答する設問では全国に近いものがありました。B問題は選択式で解答する設問では全国に近いものがありました。

中学校 学力調査の結果より

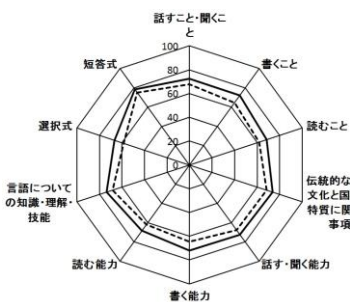
国語は、A問題で「読むこと」において全国と差が少なく、登場人物の心情理解で正答率が全国を上回る設問もありました。しかし「話すこと・聞くこと」に課題があります。B問題では選択式の設問で無解答率が低く、解答の意欲がみられました。しかし、「書くこと」については、大きな課題があります。

数学は、A問題の分数のわり算で正答率が全国を上回る設問もありました。しかし、「関数」や「不等式」については、課題があります。B問題では選択式で解答する設問では全国に近いものがありました。B問題は選択式で解答する設問では全国に近いものがありました。B問題は選択式で解答する設問では全国に近いものがありました。B問題は選択式で解答する設問では全国に近いものがありました。

<平均正答率>

..... 大東市
—— 全国

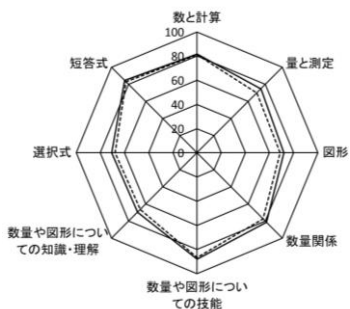
国語A
大東市：67.3%



国語B
大東市：49.0%



算数A
大東市：75.8%



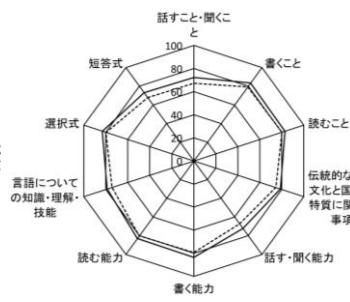
算数B
大東市：52.5%



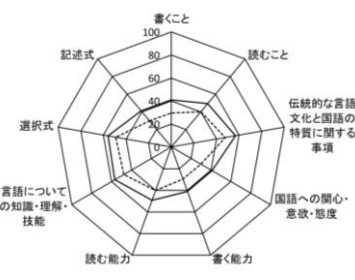
<平均正答率>

..... 大東市
—— 全国

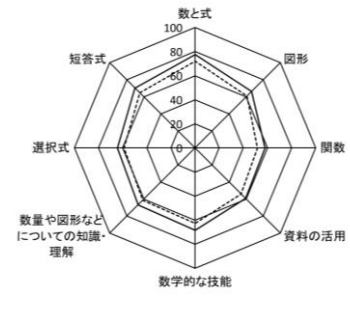
国語A
大東市：75.4%



国語B
大東市：42.8%



数学A
大東市：61.8%



数学B
大東市：53.2%

